

真夏のブラジルより新年のご挨拶①

～ゴイアニア～

Agrex do Brasil 社

佐林 優



皆様、新年明けましておめでとうございます。ブラジルのゴイアニアより、謹んで新年のお慶びを申し上げます。2025年4月より研修生としてブラジル (Agrex do Brasil 社、以下 AGB) に派遣されております佐林 優と申します。このたび新年のご挨拶の機会を頂戴し、当地での様子をご紹介させていただければと存じます。

【ブラジルの治安】

ブラジルは、特に治安についてご心配を頂くことが多いです。ご両親はさぞかし心配されたのでは？と様々な方に聞かれます。私の場合はブラジルのトレーニーを希望させて頂いていた背景もあり、派遣頂く前に出張・旅行を含めて何度かブラジルへ滞在したことがございましたので、家族への根回しはバッチリでした。両親もブラジルなら大丈夫じゃないか？という感覚になっており、あまり心配せずに送り出してくれました。

ただ確かにブラジルの治安は良くはありません。最近日本では、リオデジャネイロにて警察とファベラの抗争がニュースで取り上げられたと聞きました。リオデジャネイロ・サルバドール・サンパウロは特にブラジルの都市のなかでも危険な街という印象です。当然ではございますが、都市内のどの地域が治安が良いのか、悪いのか、必ずその地域に住んだことのある、または訪れたことのある友人に聞いて、各地域を訪れる必要がございます。

ただ私が現在住んでいるゴイアニアは比較的安全な街であり、同時に他の都市より心優しい方が多い印象です。サンパウロやブラジリアといった喧騒感の強

い街から離れて、落ち着いたゴイアニア暮らしを選ぶ人も多いと聞いております。

【ゴイアニアでの生活】

ブラジルの方々の朝は早く、5時や6時に起きてジムでトレーニングをした後に会社には8時に到着している方もいます。その後、8時から18時が勤務時間となり、18時半にはほとんどの社員がオフィスを出ます。

私は現在大豆とうもろこしを取り扱うトレーディングチームに配属されております。11時半頃まではマーケットの情報収集をしながら当日のトレーディング方針を決め、11時半から16時半まではシカゴ相場やブラジルマーケットと向き合いながら、トレーディングのサポート業務をさせて頂いております。直近は米国と中国の関税交渉を背景としたボラティリティの高い市況の中、予測が難しく、日々のカオスな状況にもトレーダーたちと笑い合える瞬間は、AGBの一員になれたような気がして嬉しい一場面です。業務後はポルトガル語の授業を受講します。夜は飲み会が殆どないので、ランニングやジムに行くことが日常になりました。サンパウロを訪れて、南米初開催となったHYROXという競技に出場してみたりと、日本にいた時よりも非常に健康的な生活を送っております。週末は同僚とホームパーティーやサッカー観戦をしたり、ゴイアニアで予定のない際はブラジルの他都市へ足を運んだりしております。



【ブラジル文化で驚いたこと】

私が派遣された当初、オフィスに入館するのに困っていたところ、優しく助けてくれた AGB 社員の方がいました。非常に笑顔が素敵な女性で、今では私の大切な友人です。

そんな彼女と以前 2 人でサッカー観戦の約束をしました。最初は彼女と 2 人の「予定」だったのですが、彼女のお兄さんとその友達、彼女のご両親まで合流し、最終的には 6 人で観戦致しました。その後、そのままディナーに行くという日本では考えづらい事態が発生しました。

このサッカー観戦に限らず、ブラジルあるあるで、大体想定していた人数の倍は集まります。最初は全く知らない人が毎度いるので緊張することも多かったのですが、今ではこの文化のおかげでコミュニティが自然に広がりましたこと、感謝しています。

ブラジルですので、どんなサッカー観戦だったかも触れさせていただきます。実は、私もその友人もサッカーのルールに疎く、観戦したというよりもサッカーを BGM に、ビールを片手に終始会話をしていたため、いつの間にか試合は終わっていました。

このように案外ブラジルの方でもサッカーが好きとは限らないのです。ホーム



ゴイアニアでのサッカー観戦時の写真

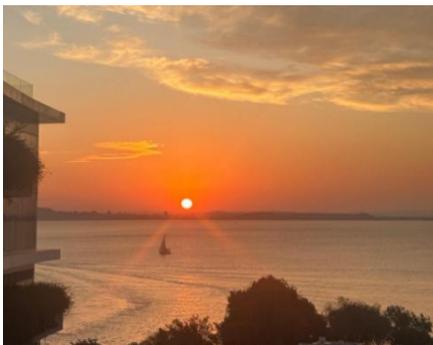
パーティー等を一緒にする他の友人らもサッカーの話は全くしません。日本(であれば一度は経験したことのある、海外の方から「漫画は何が好き？私はワンピースが好き。」と言われてもワンピースを読んだことがない人がいるのと同じで、ブラジルの方のサッカー好きも人によるようです。

【ブラジル おすすめの都市】

11月に旅行で訪れたポルトアレグレという都市です。ヨーロッパ系移民が移り住んだ町であり、ヨーロッパらしい街並みが特徴です。ポルトアレグレとは、陽気な港という意味で、名前の通り人々が明るく穏やかな印象を受けました。

昨年24年5月には大洪水の影響で街の大部分が浸水の被害を受けています。ポルトアレグレの空港も復旧に半年かかったそうです。現在は空港も街も復旧していますが、復旧がなされた背景には、ポルトアレグレの方々の明るい人柄も大きく寄与したのではないかと感じました。

また、無難ではございますが、リオデジャネイロもおすすめの都市です。大学時代の友人が同地に駐在をしており、同地の駐在員同士のビーチバレーに参加致しました。目の前に有名なドイス・イルマオスを見ながらのビーチバレーは、リオデジャネイロらしい良い思い出となりました。



左：ポルトアレグレ グイアバ湖での夕日



右：リオデジャネイロ (ドイス・イルマオス)

【ブラジルの音楽】

ブラジルと言えばリオデジャネイロのサンバでございますが、他にも音楽のジャンルはございます。ゴイアニアの中心地に Marcado74 という路面のミュージックバーがあるのですが、そこで Pagode というジャンルを知りました。Pagode は、1980 年代にリオデジャネイロで生まれたサンバの派生ジャンルで、カヴァキーニョやバンデイロなどの打楽器を使った軽快なリズムが特徴的です。歌詞は恋愛や日常をテーマにし庶民的で親しみやすい音楽です。また、ブラジルの若者の間では、EDM というよりかは FUNK と呼ばれるジャンルに人気があるらしく、ミュージッククラブでは FUNK が流れることが多いようです。一度だけリオデジャネイロのイパネマのミュージッククラブに足を運んだことがあります。確かに聞いたことのある EDM は一度も流れてこなかったのが印象的でした。

【ブラジルで困ること】

ブラジルはこんなにも暑い国ですが、アイスコーヒーを飲む文化がありません。35 度を超えている昼間にも熱いエスプレッソが定番です。サンパウロやリオデジャネイロでは比較的容易にアイスコーヒーは手に入りますが、ゴイアニアではザ・コーヒー(The Coffee)という 2018 年にブラジル・クリチバで創業したカフェの系列店以外では、飲む事が難しい現状です。名前がカタカナの通り、日本に着想を得ているようで、抹茶ラテなど日本のメニューもあり、非常に助かっております。

【最後に】

簡単ではございますが、ブラジルでの生活につき共有させて頂きました。ブラジルは私が当地に到着してから現在まで毎日 30 度を超える状況ではございますが、日本の皆様におかれましては、寒さも厳しくなる季節頃かと存じます。どうかお体にはご自愛くださいませ。末筆ではございますが、飼料輸出入協議会及び会員各社の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます